

練積みブロック「あさひⅢ型」 (環境保全型練積ブロック)

NETIS登録番号：HR-170001-A

水平積みでシンプルな製品構造は施工効率を格段に向上させます。また、ブロックが自立するので据付作業が安全に行えます。鉄筋による横連結構造になっているのでカーブ施工がスムーズに行えます。



【特徴】

- 上下のブロックに胴込めコンクリートが千鳥に打設され、強固に一体化された大型ブロック積擁壁です。
- 「あさひⅢ型」は、『美しい山河を守る災害復旧基本方針』による護岸ブロックの留意事項に準じ、明度測定を行っております。
- ブロック前面を擬石模様とすることで、自然石が持つ質感や凹凸、ざらざら感を持たせることができ、周囲の景観と調和します。
- ブロックの積み方は周囲の景観と調和しやすい「自然石風布積みパターン」としています。
自然石とすることで周囲との景観の調和を目指し、布積みとすることでブロック単体が目立たないように工夫を施しています。
- ブロック単体の施工面積は1.0㎡となりますが、完成時の素材の大きさは0.5㎡となり、ブロックの大きさにも留意しています。
- ブロックは鉄筋による横連結構造となっており、カーブ施工がスムーズに行えます。

【設計条件】

適用勾配	1:0.3、1:0.5、1:1.0
背面形状	切土部・盛土部に適用可能
有効直高	5m程度(現場状況に応じた検討となります)

【関連製品】

- 積みブロック「ふる里」
- カゴボックス(積みブロック)

【明度証明書】

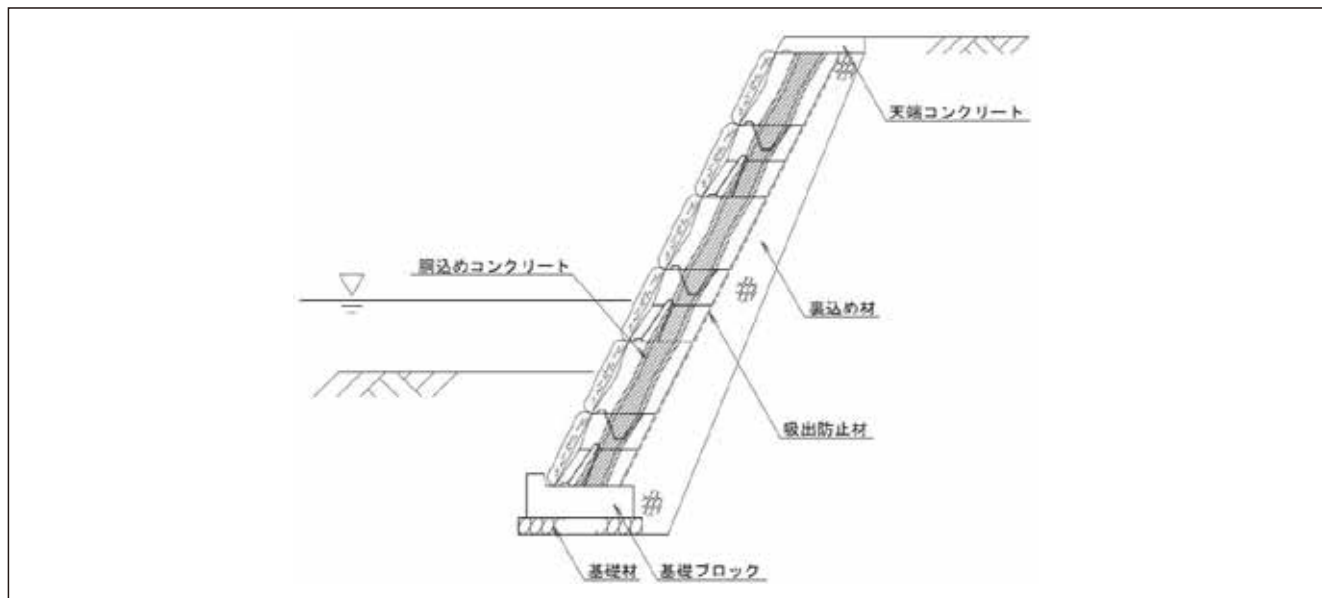


【テクスチャー証明書】

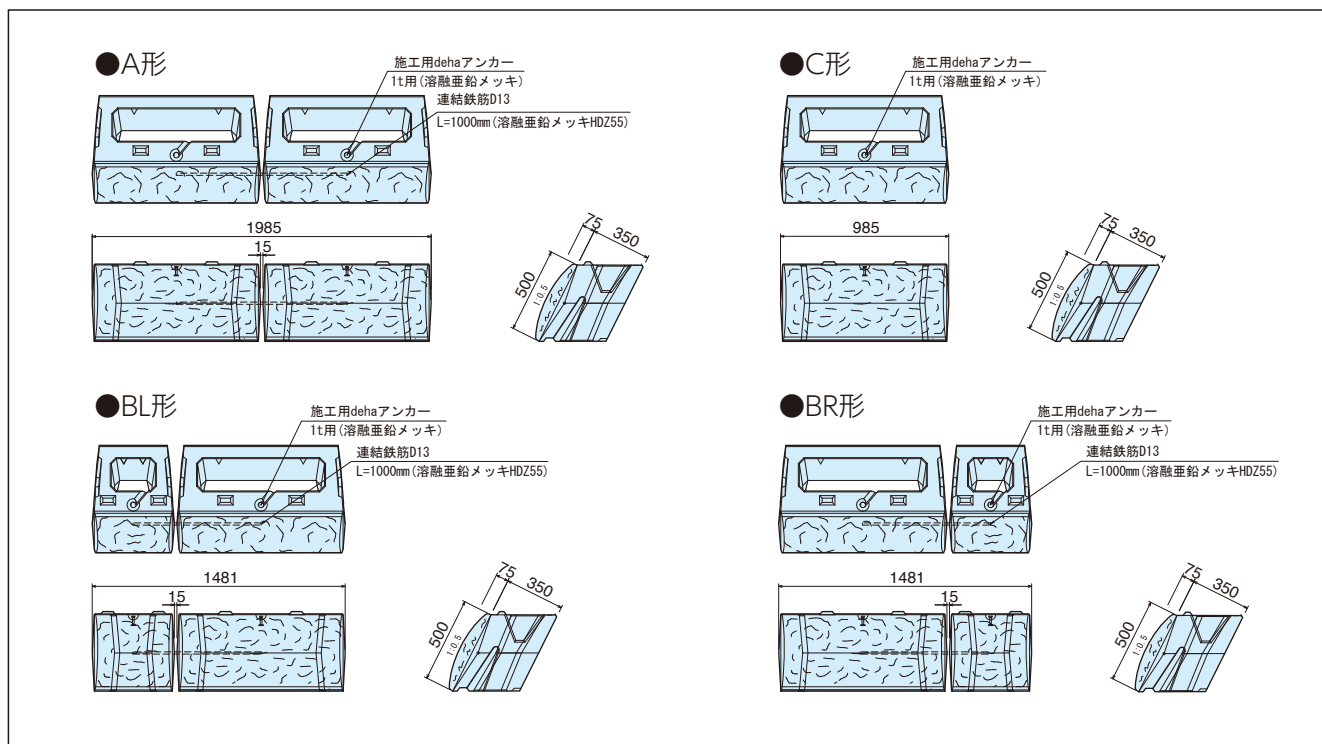




[標準断面図]



[形状図(35形)]

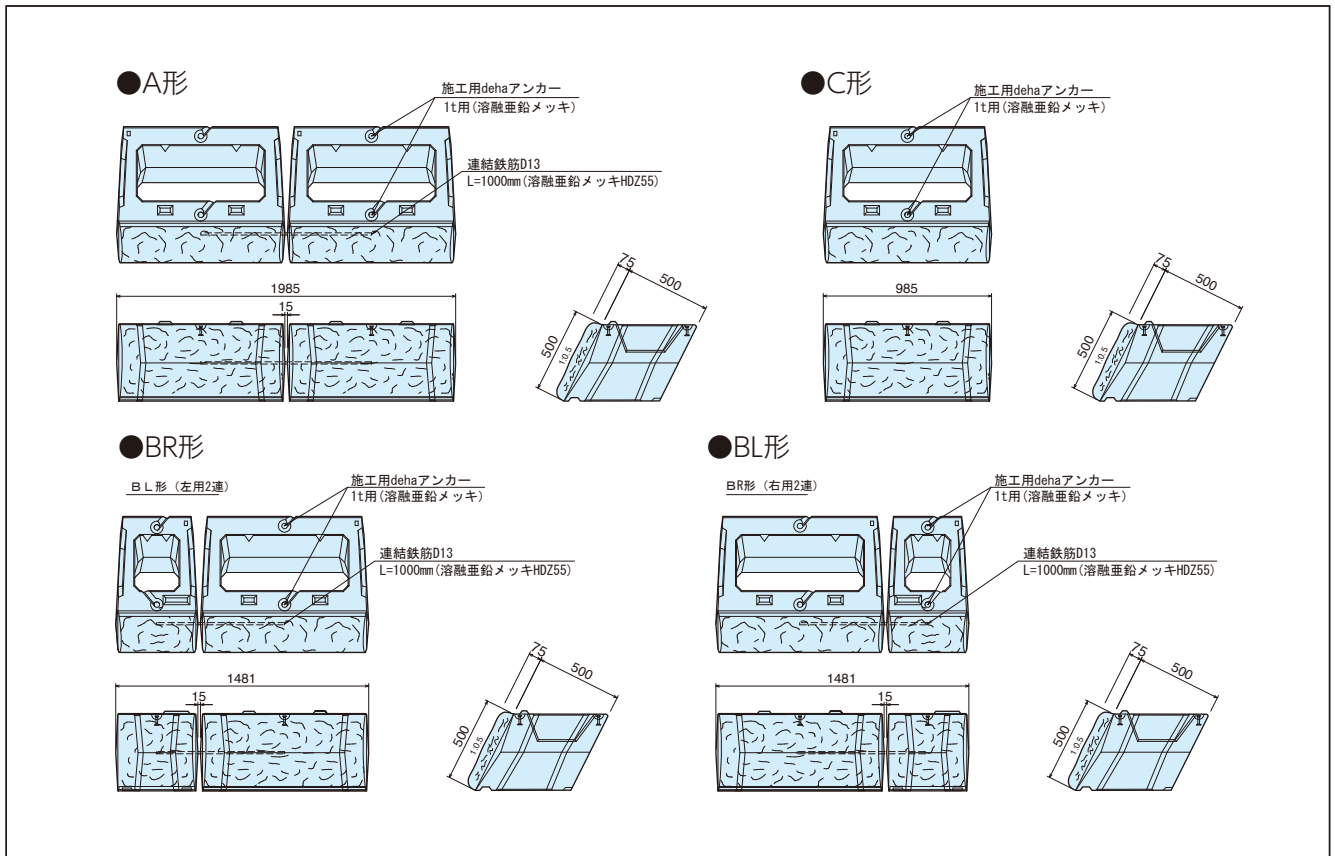


[規格表(35形)]

呼び名	主要部寸法 法長×控え×幅(mm)	ブロック体積 (m ³)	ブロック質量 (kg)	胴込めコンクリート体積 (m ³)
A形	500×350×1,985	0.2707	620	0.108
BL形	500×350×1,481	0.2055	470	0.071
BR形	500×350×1,481	0.2055	470	0.071
C形	500×350×985	0.1354	310	0.054



[形状図(50形)]



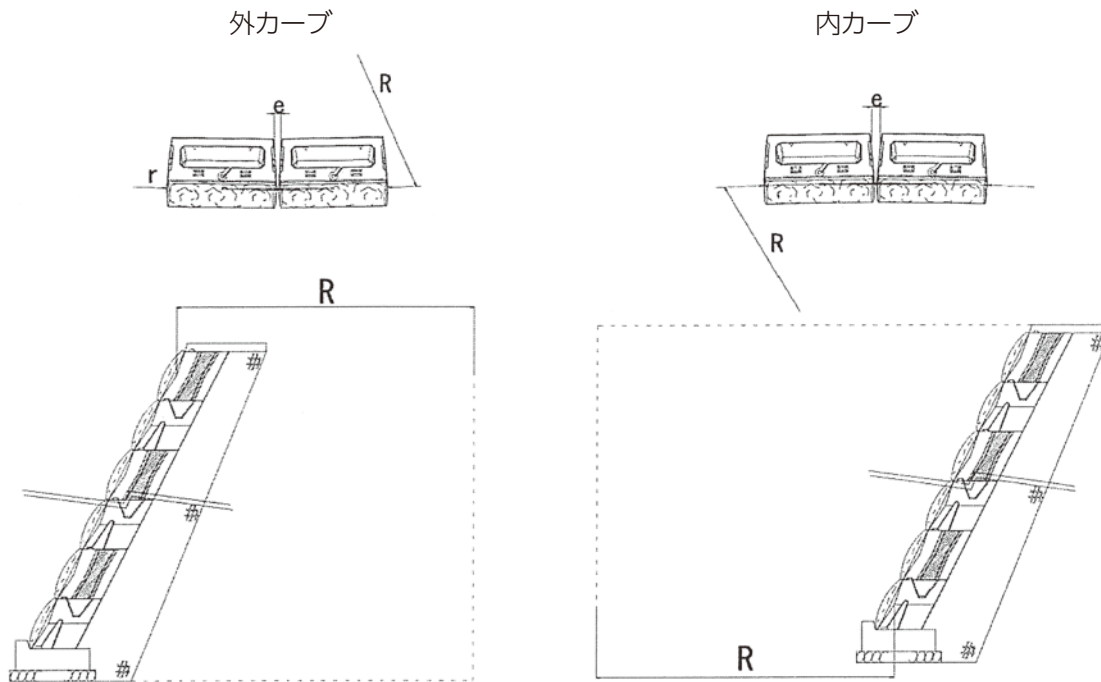
[規格表(50形)]

呼び名	主要部寸法 法長×控え×幅(mm)	ブロック体積 (m ³)	ブロック質量 (kg)	胴込めコンクリート体積 (m ³)
A形	500×500×1,985	0.3254	740	0.195
BL形	500×500×1,481	0.2480	570	0.133
BR形	500×500×1,481	0.2480	570	0.133
C形	500×500×985	0.1627	370	0.097



[曲線施工]

曲線部の対応は原則として連結鉄筋を中心に、外カーブの場合は控え方向の間隔を狭め、また内カーブの場合は控え方向の間隔を広げることで、曲線を形成します。なお、曲線部の半径や延長の設定は、下図の(r)箇所で行うようにします。



上図の通り、連結鉄筋を中心に控え方向のブロック相互の間隔を狭め、曲線を形成します。最小半径(R)はブロックの(r)箇所において30.00mで、ブロック相互の間隔(e)は下表の通りとなります。

控え	半径の位置 (R)	半径 (m)	e寸法 (mm)
350	最上段ブロック	30.00	58
500	最上段ブロック	30.00	70

控え	半径の位置 (R)	半径 (m)	e寸法 (mm)
350	最下段ブロック	30.00	82
500	最下段ブロック	30.00	105

[天端工放設例]

天端部を調整コンクリートで処理する場合には、最上段のブロック天端部の隙間に鋼製埋設型枠を設置した後、コンクリートを充填します。

天端部を客土で仕上げる場合は、最上段のブロック1段分のみ現地発生土や砕石等で目潰しを行い、吸出防止材を施した後に天端部を形成します。

